

有宵会だより

第128号
発行所
特定非営利活動法人
岳岳館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-6

九星と易断による 四月・五月の運勢

気学では辰の九紫
四月四日（清明）節入

ア 生氣			破
8	4	6	
7	9	2	
3	5	1	天道

気学では巳の八白
五月五日（立夏）節入

生氣 ア	7	3	5	天道 破
	6	8	1	
	2	4	9	



桜三月の異変

この三月ほど騒々しいニュースが駆け巡ったのは桜の花と肩を並べて気温の上昇で、夏日となる意外さに驚く。山火事が各地に発生して被害をもたらすなど、対岸の火事騒ぎではなく毎日が連る瀬なく気象異変なのかと心中穏やかではないと痛感が続いている。

最近のトランプさんは世界を相手に天下を牛耳執るなど、ウクライナとロシアの停戦問題、経済では関税25%上乗せる発表。まさしく独壇場でこれから先、世界はどうなるか、地球は一つではなくなりそうです。

○ウクライナ停戦の件

風水渾の初六

卦辞に「大川渡るに利し」とあるが紆余曲折で道遠いが曙光が窺える。

○関税25%上乗せの件

天風姤の上九

卦辞に「姤は遇うなり」道理に適わないが策を変えず節目は二年位と読

みますが如何に。

一白水星の人の運勢

四月筮―火水未済九四

五月筮―地風升上六

四月は用事多く忙しく軽いものから処理。強気は裏目に出る。仕事は責任を果たして要報告。家庭は夫婦円満、金運欲かずに体調は無理せず。

五月の風は爽やか連休を楽しむ。実績を上げて一段落。若手の恋愛は夢叶える。財布は緩むが心身をほぐして体調は整う。

二黒土星の人の運勢

四月筮―沢山咸九五

五月筮―雷山小過六二

四月は平穏のとき。自由と気楽さで桜花春宵を楽しむ。見聞を豊かに旧跡地に遊ぶ。家庭は骨折りあるが落着。個人の思いが叶って体調は喜ぶ。

五月は公私にわたり現状維持で変化を求めず。仕事は難局に負けずに対処。家庭で寛ぐ。旧慣習吉。口腔・花粉に気配る

三碧木星の人の運勢

四月筮―山水蒙六四

五月筮―風火家人九五

四月は行事が多く忙しい。頑なにならず柔軟に処理する。自室を整理し気を調える。将来の課題について検討。利殖蓄財を考えると時です。

五月は日頃の努力が実る。今後の見通しが図星で実力を生かす。交際は和やかで気持ち合う。金運は手堅く、安心とご機嫌よく。

四緑木星の人の運勢

四月筮―地雷復六四

五月筮―沢天夬九五

四月は自重運。出る杭は打たれるので慎重に。仕事の厳しさと書類ミス対処。才能と個性が生かされて評価。友人と再会支出増など活気が増す。

五月は慎重に進める。手を広げすぎでは收拾がつかない。仕事は確実に済ませて有益。家庭改善の好機。健康面は疲労が続きやすい。

五黄土星の人の運勢

四月筮―水山蹇六四

五月筮―火山旅九三

四月は春暖の候。温和望むが苦勞が多い。仕事は意欲あれど伸び悩む。交友は複数がらみで問題を抱える。金運は安定。体調は食事と睡眠が大事。五月はあれこれと忙しく急ぎのものから処理。人に親切、身内に優しく接して吉。運転は注意を忘れない。足腰を大事に。

六白金星の人の運勢

四月筮―地山謙六四

五月筮―乾为天初九

四月は漸進運。良い状況を作るため努力。先走ると頭を叩かれる。仕事は高望みせず普通に進める。交際は好意があふれる。健康は復調の兆し。

五月は活気があり目標がハッキリする。人生観の広がりや安心そして賢く生かす。真摯な愛情を表して心が通う。

七赤金星の人の運勢

四月筮―地水師上六

五月筮―天山遯初六

四月は活気が出て旧より新規を選ぶ。仕事は正攻法で進め飛躍のチャンスが伏在押していく。身近な人を大事にすること心潤いを得る。

五月は好天の兆しが見える。計画の実行は大胆にいく。協力者と共に夢を語る。家庭に朗報あり。金運良好。陽気の変化に用心。

八白土星の人の運勢

四月筮―山地剥上九

五月筮―沢火革九四

四月は安定を図り現状を守る。仕事は篤実に技術の腕を振るう。温故知新で古いものの中に知恵を得る。交際は好調で人氣が高く諸事有望なり。

五月は不本意な事が生じるが下旬に収まる。家庭の問題は尾を引くがしばらく待つ。日常生活は変わらず健康も変わらず。

九紫火星の人の運勢

四月筮―雷天大壮九四

五月筮―地天泰初九

四月は何かと忙しく振る舞い、身近なところで福運が生まれる。仕事は情熱、これからが楽しみ。家庭は明るく絆が強く幸せ感を得ることでしょう。五月は活気があふれるが何事も過ぎたるは及ばざる。好機をつかむのは中旬。仕事ばかりでなく家庭の憩いが大切なとき。

二月有宵会報告

今中麻祐子 先生

二月一日（土）足立区勤労福祉会館において有宵会定期例会が開催されました。

福田有宵先生ご挨拶

皆様おめでとうございます。有宵会は研究の場であるとともに、実占の場でもあります。人を救う一助となるべく努力しましょう。

菅原有恒先生ご挨拶

明後日から旧正月ですね。明けましておめでとうございます。

今年の年筮は本卦が雷天大壮で之卦が山地剥です。五爻以外全て爻変しました。

中筮の場合、乾坤が出ると爻変するので、不変卦もあれば全ての爻が変化する場合もあります。

そこで朱子の七考占についてお話ししたいと思います。

「七考占」とは朱子の「易学啓蒙」の中に書かれていて、象爻



の中で、象爻の辞を取って占いを行う場合の七つの法則のことです。その法則なるものを列記してみますと

- ① 不変卦つまり六爻全部が変わらない時は本卦の象辞をもって占う。
- ② 一爻だけ変ずる時は、本卦の変爻の辞をもって占う。
- ③ 二爻変ずれば、本卦の二つの変爻の辞をもって占うのですが、特に上位の変爻を主として占う。
- ④ 三爻変ずれば本卦および之卦の象辞をもって占う。すなわち本卦を貞となし、之卦を悔となす。
- ⑤ 四爻変ずれば、之卦の二つの不変爻をもって占う。特に下位の変爻に重きを置く。
- ⑥ 五爻変ずる時は、之卦の不変の爻をもって占う。
- ⑦ 六爻変ずれば、乾坤の



二卦の場合には用九用六の辞を用い、他の卦の場合には之卦の象辞をもって占う。

易経には乾坤のときにだけ、用九用六があります。これは中筮・本筮の時のみ用いるものです。

今年私の名前の由来にもなっている天満宮に宇を奉納する予定であります。

佐藤宗眩先生ご挨拶

皆様明けましておめでとうございます。

有宵会も今年で二十九年を迎えます。この長い年月の中で先輩方が築いてくださった礎の上に、私達は占いを通じて多くの方々に寄り添い、力を与える活動が続けてまいりました。この歴史を共に誇りに思いながら、今年も新たな一歩を踏み出したいと思っています。

昨年末、私達を取り巻く社会は大きく変化し、不安定な状況が続いております。政治、経済、世界情勢に於いて、先の見えない不透明な時代が訪れ、多くの方々が不安や心配を抱えています。私達占い師のもとにも、「このままで大丈夫だろうか」という不安を訴える声が、これまで以上に多く寄せられるようになりました。このような時代だからこそ、私達は相

談者の声に丁寧に耳を傾け、その悩みに真正面から向き合う必要があります。

これまでの鑑定では、相談者一人ひとりの運勢や運の流れを見極め、その道筋をお伝えする事が主でした。しかし、現在の時勢において、それだけでは十分ではないと感じる機会が増えてきました。政治や経済、さらには世界情勢に至るまで、私達占い師も幅広い知識



と洞察力を持ち合わせる
ことが求められています。
時代の変化を読み解き、
相談者が抱える悩みに対
して、単なる運勢の指針
だけではなく、時代背景
や社会の動きと結びつけ
た具体的アドバイスを行
うことが、これからの占
い師としての役割になる
のではないのでしょうか。

占いとは単に未来を予
測するものではありません。
。相談者に希望や勇気
を与え、心を前向きにし、
行動を促す力を持つもの
です。

二〇二五年、私達はよ
り一層勉強を重ね、時代
の動きにアンテナを張り
巡らせ、相談者に寄り添
い続ける努力をしてまい
りましょう。皆様ととも
に占いの可能性をさらに
広げ、占い業界全体の信
頼性を高める活動が続け
ていきたいと思えます。
28年の歴史に新しい価値
を加え、有宵会を次の
世代へと引き継ぐために
も、皆様と協力しながら
進んでまいりたい所存で
す。

最後になりましたが、
私達は一人ではありません

ん。仲間がいます。そし
て、相談者の笑顔が私達
の原動力となります。ど
んなに時代が不安定であ
ろうと、私達が心を尽く
して支え合う限り、必ず
道は拓けると信じます。
本年もどうぞよろしく
お願い致します。

御神籤・御朱印
占い

八川林加 先生

御神籤占いは、易や九
星を基礎として、福田先
生が独自に研究されたも
のに基づいています。

今回の占例は、旅行好
きでパワースポット巡り
が趣味のご夫婦で、神
社仏閣を訪れては御神籤
と御朱印をいただいてく
る方です。以前、同じお
社であれば、御神籤と御
朱印はセットでいただい
てきた方が関連性が分か
るとお話しした事があり、
いつもセットでお求めに
なります。

昨年十月に鹿島神宮を
お参りされた際に、引い
た御神籤が半吉だった事
が気がかりで、その場で
スマホで写真を撮り、御
神籤と御朱印の画像を送っ

てくださいました。
鹿島神宮の御祭神は武
甕槌大神で、勇ましい神
様です。

一般的に、神社の御神
籤は和歌で書かれている
ことが多く、神社は漢文
で書かれています。鹿島
神宮の御神籤は神社です
が、サバサバしています。
御神籤の文言は「石を穿
つ雨垂の如し」事の困難
なるに出合ったと云って
難ずる勿れ。辛抱強けれ
ば遂に成功する」とあり
ました。

「石を穿つ雨垂」とは、
坎為水の象意です。「事
の困難なるに出合ったと
云って」という文言から、
もう既に困難に出会って
いるという前提で解釈し
ました。人と人との出会
いであるなら、「会」と
いう文字になります。
「出合う」なら、人以外
のこともあるのではと思
いました。

御神籤占いは連想ゲー
ムのようなものがありま
す。車での旅行のことを
知っていましたので、運
転に注意するようアドバ
イスしました。
御朱印では、武甕槌大

神が真直ぐではなく、右
寄りに見えました。鹿島
の鹿の文字の比の部分の
特徴、神社の神の文字の
示偏がクシヤットしてい
ること、旁の部分の申が
車に見えたこともあり、
脇見運転・居眠り運転に
注意した方が良いとアド
バイスしましたが、案の
定、鹿島神宮参拝の帰り
に高速道路上で車同士の
接触事故を起こしてしま
いました。不幸中の幸い
としては、お互い怪我が
なかったことです。先方
の車には傷、本人の車は
少しへこんでしまったと
のことでした。御朱印の
配置から見ると、少し右
に寄ったのではないかと
思いました。

また、御神籤の文言の
「雨垂の如し」は繰り返
しと見る必要があり、ぼっ
たんぼったんと時間がか
かると取れるので、居眠
り運転で蛇行していたと
もとれます。

次に同じ方から、同じ
く御神籤と御朱印で、車
を買い替えるか修理する
かのご相談がありました。
この相談者はお不動様
が好きで、何かの折には

成田山新勝寺にお参りし
ており、今回は成田山新
勝寺の御神籤と御朱印で
す。

乗っていた車は買って
から二年。傷が小さけれ
ば板金で直るのですが、
外車のせいか、修理の見
積もりを出して貰ったら
百二十万円。この車は月々
の支払いを、残クレ（残
価設定ローン）で支払っ
ているとの事。その方が
月々の支払額が安く済む
からが理由でした。

しかし購入から二年で
は、まだ所有権はデイー
ラーにあるため、修理に
出す以外に選択肢がある
かをご相談するよう話を
しました。先方からは、
新車への買い替えも提案
されたとのこと。現在の
車を修理に出すと車の買
い取り評価額がかなり低
くなるというわれ、修理か
保険金を使って買い替え
るかを迷っているのだそ
うです。

この御神籤も小吉でし
た。
御神籤の文言の二句目
の「先憂事更多」は難あ
りですが、一句目「道合
須成合」、四句目とあわ

せて「更变得中和」の中
和を得るは、変じて車が
変わる・相殺するプラン
を表すと見て、買い替え
と判断しました。

しかし、買い替えは大
きい事なので、九星も参
考にしました。

本命星が二黒の方なの
で、納車が巽宮（令和七
年一月迄）のうちに間に
合うならば買い替え、間
に合わなければ修理を選
択する、との条件付きで
結論の判断をしました。

御神籤・御朱印占いは、
易・九星、画相で判断し
ます。特徴がどこにある
かがポイントとなります。
御神籤にも方位が記され
ていることがあります。九
星の方位を用いること
の方が多いです。

『質問』

御朱印の文字には書き
手の癖があり、神の文字
の示偏はこの書き手の癖
と見られるが、この判断
だと皆同じになってしま
うのではないかと？

↓同じ場所で大勢の人の
ものを見るのであれば、
癖を勘案する必要がある
と思いますが、今回はお

一方だけだったので、そこは見ませんでした。

御神籤占いは九星の要素との組み合わせで判断します。

神社の御神籤は、五十番までのものが多いですが、六十四番、あるいは八十八番までの番号があるものもあります。

御神籤の番号は易の序卦伝の順番を表すという考え方の他にも、小成卦に直して判断する方法があります。

例えば、三十四番の御神籤であれば、序卦伝の順言えばで、雷天大壮となり、小成卦の順番を組み合わせるなら、3が離、4が震で組み合わせると火雷噬嗑とすることもできます。

御神籤は吉凶だけでなく、引いた時の数字も大切になってきます。

また、伝え方も重要です。御神籤は凶だからといって、絶対に悪いというものではありません。御神籤は神仏のお告げです。大凶であっても、注意すればある程度回避出来る事があるからです。

福田有宵先生 ご講話

数日前NHKで、先日亡くなった小倉智昭アナウンサーのお話が放送されました。

小倉氏は子供の頃、どもりだったそうです。七夕の時、短冊に三年連続で「どもりを治してください」とお願いしました。

「さい」とお願いしました。

が叶わなかったそうです。

少年に父が「目標を持ちなさい」との言葉をかけてくれたそうです。そこから彼は自分でどもりを治す努力をしたそうです。

後年、アナウンサーになったのは運命だったと思うと話しておられました。

た。

小倉氏は昭和二十二年生まれで、本命星は八白です。

言語に問題が出やすいのは一番は三碧、次に来るのは八白と言われています。

小倉氏は子供の頃からハンデキャップを克服し、人生の試練を乗り越えてきた方です。

「目標を持つ」とは、将来何になりたいのか、どう生きたいのかという事でもあります。

新年ですので十二支にまつわるお話をしましょう。

十二支は十二年毎に一回巡ってくる決まり事です。ルールに縛られるものには意味があります。

十二支の中で巳は象形文字からきています。それ以外の文字は実体のない当て字です。暦の中でどう説明しているかというと、巳以外は樹木・草木に模して記しています。文字の中身をあてていくと、

そうなってしまう。

何故巳年だけが象形文字なのでしょう。

十二支は十二の氣からなります。巳は四月の陽の氣です。

十干、十二支五行でそれぞれ中身が違っています。

色々な相談に氣の用い方で答えることがあります。

諺では「鬼が出るか蛇が出るか」など物騒なものが多いです。

蛇の道は蛇、同業者には似た傾向があるという事です。同じような諺に、

蛇の心は蛇が知る、人の心は人が知る、というものもあり、同人の道・同じ業種・境遇の人だけにわかる心情があるという意味です。

戦前に蛇稽古という言葉がありました。蛇は春になると冬眠から目覚めるが、冬になると冬眠に入ることから、稽古が長く続かないという意味です。

史記は易経と並んで膨大な歴史書ですが、始まりは蛇身人首の神、伏羲からなっています。

易経も伏羲・女媧の伝説から始まります。楚辞

では地上の最も大きいといわれる生き物である象を飲み込んだといわれており、その蛇の大きさは千尋もあるということです。

地相で四神といわれる青龍・朱雀・白虎・玄武のうち、北を表す玄武は亀と蛇が一体となっているものです。何故玄武は蛇と亀なのでしょう。

一説には亀は全て雌であり雄がなく、蛇は全て雄である。亀と蛇が交尾して子供が生まれるといえます。置物としても亀と蛇は作られています。中国では蛇の夢を見ると女の子が生まれるともいわれています。

詩経にはそのような意味のものが書かれており、易経にも龍蛇、巽（辰・巳）があります。

人生には失敗や不運に見舞われるなど、不遇の時があります。易は出処進退に重きを置いています。人生には良い時ばかりではありません。不遇の時にどう対処していくかが重要です。易経のな



かに「龍蛇の蟄は以て身を存するなり」とあり、不遇の時は一時身を退くことが明哲保身の道にかなうとしています。周礼にも、亀は智にして蛇は果（果斷）なりと蛇の徳を説いています。英雄も時期を待つため、蛇の冬籠りのように蟄居することがあるという事です。

「音牛の如し、現るれば則ちその邑大いに旱」「大華山に蛇あり、六足四翼、現るれば則ち、天下大いに旱す」とも言います。前年の辰（龍）は雨を呼び、巳年は旱になるという事です。

中国の伝説に、双頭の蛇を見ると、必ず死ぬというものがあります。楚の国の大宰相・孫叔敖は幼い頃、双頭の蛇を見てしまい、母にもうじき自分死ぬと告げました。母にその蛇をどうしたのかと聞かれ、それを見て大勢の人が亡くなつてはいけないので、埋めたという、母は陰徳を積んだ人間を天は福をもつて報いるので、死ぬことはないと言ったといひます。朱子学の中に、こういっ

たものがあります。友人のところで酒を飲んでいたが、盃の中に蛇の姿が写っていたが、捨てるわけにもいかなないので飲み干した。その後部屋に閉じこもつてしまう。友人に何故かと問われ、盃の中にうつっていた蛇を飲んで病氣になったと告げた。

病は氣からといい、東洋の健康術では氣は重要なものです。氣鬱とは、神経を病むことです。

その男は再度友人宅に行き、宴会をしていると壁の上の方に蛇の絵が描いてあった。何でもないように見える事が人に影響を与えているのです。

琵琶湖付近は近江商人という言葉があるように、商売をしている人が多い土地柄です。近江の竹生島、安芸の厳島、宗方三女神は仏教の弁財天と結びついています。巳の神は水の神で五行の水星を表します。

占いの中で十二支占いというものがあります。現在では忘れられていますが、戦前には流行っていました。

交渉事、人との付き合いには十二支を用いると良いといひます。年男と年女には歳神様がお越しになります。

古くは歳神様用に小さい神棚を作つて、他の神様とは別にお祭りしていました。

巳年生まれの人には執念があるといわれています。それは熱心である、目標があるという事です。今年は二黒土星が中宮にあります。運は遁甲といつて巡りゆくことです。

中宮に回座するという事は入城したという事です。中宮を除く八宮はそれぞれの宮に回座します。どの星も中宮である二黒の影響を受けます。

相生であればプラスの作用がありますが、どのようなものであれ、二黒の影響を受けているので古いものの、従来のものに価値がでてくるでしょう。

定位盤では中宮は五黄の場所になります。五黄は皇帝から乞食までというくらい振れ幅が大きい星です。

中宮にいる一年間、五黄の特性の中に二黒がい

ることになります。

年運は自分の星と回座している宮の関係だけでなく、中宮との関係がどうであるかも判断する必要があります。

二黒の道は温故知新です。先々に飛び出すよりゆつくり進む、持久戦です。また、再生という事に重きを置きます。医療関係なら再生医療といったように。医学は、本来は九紫に当たります。九紫は今年、震宮に回座しているの、新しい技術が生まれる可能性があります。

福田先生、佐藤先生、菅原先生、八川先生、貴重なお話をありがとうございました。

【NPO通信】

次のかたがたより、有宵会活動に関する賛助金を賜りました。皆様からのご厚情に心から御礼申し上げます。

◎有宵会賛助金ご協力者

令和七年二月二十八日現在
(敬称略・順不同)

佐藤宗眩 美馬朋子
今中麻祐子 阿部治
杉本侑穂 福田有倭
岩崎杏泉

*賛助金を銀行振り込みでお送り頂いた場合は、会報誌への掲載が遅れることがあります。何卒ご了承ください。

◎行事・活動報告

《鑑定会報告》

◆「ら・館まつり2025」内、占いコーナー
・日程／令和七年三月二日(日)
十時〜十五時半
・場所／総合区民センター

・鑑定人数 一一八名
・相談件数 一一四件
・出演者
・種類 無料鑑定会

《出演者氏名》
(敬称略・順不同)

慶峰(運営) 森千紗
久保田恵都予
白土愛眞 宮田麻有
Lila 卯月享
南亜希 野口宗恩

●鑑定会報告

慶峰 先生
昨年は、レクホールでの開催でしたが、今回の会場は前回よりもスペースを多く取れるようご配慮頂き、七階で二つの会議室を四人ずつ入ってスタートしました。

また、区民センターご担当者との事前の打合せにより、より多くのお客様に鑑定会のご参加を頂けるようにするため、お昼休憩は交代でとることになりました。

(寸評)

十時から開催となり、八名の鑑定席もすぐ埋まりました。十一時位になると待ちの相談者も増え、他のイベントに参加して終了してから戻られることとなりました。他のイベントが終わると待ちの相談者が増えるという形となりました。当初、先生方のお昼休

憩は、十一時半から四名、十二時半から四名を予定していましたが、待ちの人数も多いため、先生に承諾を頂き、状況に合わせて順次休憩に入って頂きました。

午後からも他のイベント中は待ちも少なく、イベント終了後には戻られる相談者が多かったです。お子さん連れの方、年配の方も多くみえました。例年継続して占いイベントも行われていますので、特定の先生ご指名の相談者も多かったです。

年齢層は、相談件数一四四件のうち四十代が多く、次は七十代以上の方でした。

相談内容は運勢がトップで、次に仕事の相談が多く、運勢と仕事の相談が全体の約半分を占めています。

今回二つの会議室を使わせて頂き、午前中は、鑑定時間が長くなる傾向がありましたので、午後にはなるべく「お待ちのお客様さんも多いので早めに」と声掛けを致しました。私自身も運営等で今後の課題をいろいろ感じられ

ました。

区民センターご担当者
は、一一八名と多くの相談者さんが来られたことを喜んでおられました。
以上、よろしくお願ひ
申し上げます。

＊なお、三月は二十二日に松戸と足立区でそれぞれ鑑定会を実施しておりますが、会報誌発行日の関係で、次号でご報告させていただきます。

《イベント報告》

◆有宵会初参り

- ・日程／令和七年二月十九日（水）
- ・場所／検見川神社様（千葉市花見川区）
- ・現地参加者 七十名
- ・御祈禱件数 八十四

《会場出席者 氏名》

（敬称略・会場受付順）

福田有宵 佐藤宗眩
富澤岑子 小宮有里
長澤光祐 濱野延珠
山下チヅ子 大鷲公子
甲本安紀子 渋谷由紀子

岩崎杏泉 佐々木陽子

宮崎民子 今中正美

今中麻祐子 千葉一理

中島彩恵 上原伯禮

杉本侑穂 仁科朱陽

宮田麻有 河野有泉

安齋美佐 近藤幹恵

慶峰 南亜希

秀和仙宵

他、有志による参加

（お知らせ）

初参り当日は、少ない運営人数で対応をしていた関係で、会場参加の会員ご氏名を全て網羅できていない可能性がございます。ご了承ください。）

●初参り報告

岩崎杏泉 先生

有宵会有志による初参りはお天気は良かったですが風が強く気温が十度未満の極寒の寒さでした。そんな中で多勢の方々がご参加いただき感謝申し上げます。

検見川神社様のご神職

様方にはその人のご相談に合った願意のご説明やアドバイスをいただき自分自身が満足できる願意を立てる事ができました。今回は参加者全員に「令和七年乙巳年神祇三社本

暦」を賜りました。

検見川神社のご神職様方には待機場所のお手配からご祈禱の準備に至るまで多大なご協力をいただきました。

拝殿では巫女舞が振る

舞われ申込者全員の名前と願意を込めた祝詞奏上をいただき、参加者は神前で玉串をお供えし、各々ご祈願をいたしました。

参拝後は現地解散となり御朱印、お守りをいただく方やおみくじを引かれる方等。おみくじを引かれた方は有宵先生にアドバイスを頂いたり、ご説明を頂いたり和やかな初参りでした。

検見川神社様のご厚意

に深く感謝しこの場を借りて御礼申し上げます。

この度お手伝いを頂いた宮崎民子様、慶峰様、宮田麻有様、安齋美佐様には深く感謝申し上げます。

＊また、急遽三月二十日に福田有宵先生と有宵会有志による伊豆山神社参拝イベント（幹事・杉本侑穂先生・近藤幹恵先生）を実施いたしました。会

報誌発行日の都合により、次号でご紹介させていただきます。

【事務局だより】

◆次回の例会情報

日程／令和七年

五月三十一日（土）

十三時～十七時

会場／

足立区勤労福祉会館

ブルミエ第二洋室

（千代田線 綾瀬駅

西口 徒歩三分）

＊有宵会では、占術の勉強会や無料鑑定会開催の他に、講師の育成についても活動の重点項目としております。例会では、会員による講義および占例の発表が定例で予定されますことを予めご了承いただきますようお願い申し上げます。

＊今後も、例会およびイベント内容は、直前に変更・中止となる場合がございます。各種の更新情報は、有宵会ホームページ

ジで定期的にご確認ください。

◆《会員対象》お知らせ

二月中旬頃、会員向けに郵送した会報誌内に誤植がありました。お詫び訂正申し上げます。

・対象…第二百二十七号（一月発行分の会報誌）

・訂正箇所…一ページ目の二段 後ろから二行目

×蛇税↓○蛇蛻

＊WEB版の会報誌は当初より正しい内容で掲載をしておりますが、郵送でお送りした会報誌につきましては、各自で修正をお願い致します。

■令和六年二月例会参加者

令和七年最初の例会は、二月一日に開催。四十六名のかたが会場でご参加をされました。なお、諸事情の都合により、懇親会は中止となりました。

事務局長 八川林加